# ぶんけい

かわら版

# 教育ほっとにゅーす

# 教育の小怪



### 今月のことば

### 絵に描いた餅

実際に役に立たないもの や実現する可能性や現実 性がないもののたとえを 言ったものです。「絵に 描いた餅のようだ」とは 言いません。





国士舘大学教授 北 俊夫先生

# 食物アレルギー問題への対応

- ■食物アレルギーは命にかかわる重要な問題です。該当する子どもは増加の傾向にあり、学校として未然の予防体制を確立する必要があります。
- ■食物アレルギー問題に対しては、教職員の研修、子どもの実態把握、個別給 食の提供、発症したときの対応策などがポイントです。

# 今月の記念日

### 朗読の日(6月19日)

NPO法人日本朗読文化協会が、2001年 (平成13年) に朗読をとおして文化活動と社会に貢献することを目的に制定しました。六(ろう)と十(と)と九(く)の語呂合わせです。

### 食物アレルギー問題とは何か

近年、乳幼児から成人まで、特定の 食物が原因でアレルギー症状を起こす 人が増えているといわれています。文 部科学省の調査によると、食物アレル ギーとアナフィラキシーの子どもは、 全体の5%を占めているそうです。

東京・調布市の小学校で起こった、 学校給食で出されたチーズ入りジャガイモのチヂミによるアナフィラキー ショックによる死亡事故は記憶に新しいところです。

アレルギーの原因となる食品は、特定原材料といわれ、食品表示が義務づけられているものと、表示が奨励されているものがあります。前者は、郊、乳、小麦、えび、かに、そば、落花生の7品目です。後者には、いか、バナウ、オレンジ、キウイフルーツ、バナナ、くるみ、牛肉、さけ、さば、フラ、もも、やまいも、りんごなど20品目が指定されています。

アレルギー症状で最も多いのは、じんましんやかゆみ、皮膚が赤くなるなどの皮膚症状です。呼吸器症状や消化器症状を起こす場合もあります。血圧が下がって意識がなくなったり、複数の症状が同時にかつ急激に併発するアナフィラキシーショックを引き起こし

たりすることもあります。

当該の子どものなかには、万が一に 備えて、アドレナリン自己注射薬(商 品名は「エピペン」)を携行している こともあります。

### 未然の予防策と万一のときの対応

事故はいかなる場合にも起こらないようにすることが最大の対策です。食物アレルギーに対しても、次のような事前の対策が求められます。

まずは、教職員が食物アレルギーに 対する理解・認識を深めることです。 食物アレルギーとはどのようなことな のか。どのような食品がアレルギーを 引き起こす可能性があるのか。事故を 防止するために大切なことは何か。 が一発症したときにはどのように対処 するかなど、事前の研修が不可欠を す。教職員の知識不足が事故を引き起 こすことがないようにします。

次に、食物アレルギーを起こす可能性のある子どもを把握することです。 当該の子どもの保護者と面談し、日ごろの食生活の様子や原因物質、対応策など必要な情報を収集します。それらの情報はカードなどに記録し、個人情報の扱いには十分留意しつつ、教職員が誰でも閲覧できるようにします。担任が不在のときに、他の教師などが指 導に入ることがあるからです。

次に、保護者と学校給食の対応について話し合います。例えば、原因物を除外して食べる、除外が困難な場合には一部弁当を持参する。原因物質を除いた給食をつくる。除外によの場合には代替えのようなどが考えられています。学校給食のほかに、家庭科などの食事などにも十分気を配る必要があります。

また、万が一発症した場合を想定してマニュアル(問題解決の手順や方法)を作成し、校内で共通理解を深めるとともに、時々訓練しておくとよいでしょう。実際の対応は事案によって異なることもあります。個々に応じた臨機応変な対応が求められます。

さらには、保護者だけでなく、医師 の診断や指示にもとづいて対応策を考えます。学級などにおいては、周囲の子どもたちへの指導も欠かせません。

万が一、原因物質を誤って食べたことなどによって意識の障害などが発症したときには、足を頭より高く上げて寝かせます。嘔吐することもありますから、顔は横向きにします。呼吸や心拍の状態を確認しながら、急いで医療機関に搬送します。「エピペン」を携行している場合は、早期に注射することが効果的だといわれています。

# 保護者会で使える。

### 朝食の大切さ

6月は「食育月間」です。食育基本法は 知育、徳育、体育の基盤は食育であると、 食育の重要性をうたっています。身体は食 べることによって作られますから当たり前 のことですが、ややもすると「食べるこ と」は軽く考えがちです。これまで勉強す ることや心を育てることと比べると、食べ るという行為はそれほど重視されてこな かったように思われます。

「早寝 早起き 朝ご飯」運動が展開 されています。この三つのことは深く連 動しています。夜遅くまで起きている と、翌朝早く起きることができません。 すると、朝ご飯を食べなかったり美味し く食べられなかったりします。朝ご飯は 一日の始まりです。必要かつ重要なエネ ルギーを補給する機会でもあります。体 を元気に動かし、頭をフルに回転させる 源になるものです。

さまざまな理由で朝ご飯を食べてこな い子どもが増えているといいます。朝ご 飯をしっかり食べてくる子どもはそうで ない子どもと比べて、学力が高いという 結果が、文部科学省の調査で明らかにな りました。また、食習慣が確立している 子どもは、思いやりの心やものを大切に する態度が育っているともいわれていま す。食べ物を残さず感謝して食べている からでしょう。

朝ご飯をしっかり食べることと、学力 の向上や心の教育とは、一見関係がなさ そうですが、深くかかわっているようで す。これからも栄養のバランスを考え た朝ご飯の献立にも気を配り、一日のス タートを切りたいものです。



## 教育時事 教育の動向

### 学校の統廃合

文部科学省は、59年ぶりに学校統 廃合の基準を見直しました。全校で6 学級以下の小学校、3学級以下の中学 校は、統廃合を検討するよう求めてい ます。また、通学区域についても「お おむね1時間以内」としました。これ はバス利用を前提にしたものです。

基準の見直しが行われたのは、全国 各地で少子化や過疎化が進行し、学校 運営上さまざまな課題が顕在化してき たことによるものです。例えば、学級 替えが無いために、子どもたちが切磋 琢磨できない。入学以来、人間関係が 固定化してしまう。自治体の経済的な

負担が過重になっているなどの課題が 指摘されています。

統合によって期待できる成果には、 友だちが増えるため多様な考え方に触 れるようになることがあげられていま す。体育科や音楽科などの時間には集 団活動が充実します。中学校では部活 動も充実し、いい意味の競争意識が養 われます。

一方、次のような課題が指摘されて います。スクールバスで通学すること から体力が低下する。下校時刻が定め られることから、放課後の活動が制約 される。長時間バスなどに乗ることが 子どもの負担になるなどです。そして 何よりも、地域から学校が無くなるこ とに対して、地域がさみしくなると指 摘する住民も多いと聞きます。

### コラム

# ものの見方・考え方とは何か(8)

### 時間軸と空間軸

物事を見たり考えたりするとき、そ の現象や状況の座標軸を明確にもつこ とが重要です。座標軸とは「位置」を 明確にすることです。座標軸の一つは 時間軸です。「いつのことか」を押さ えることです。いま一つは空間軸で、 「どこでのことか」ということです。 前者では年月や日時など年表や暦が登 場し、後者では地図が使われます。

かつて生活科が誕生したころ、地域 に目を向け、地域のさまざまな素材を 教材化する際に、生活科マップと生活 科暦を作成する取り組みがなされまし た。これは、空間軸と時間軸で地域を 理解し、地域の素材を見いだすための 手だてとして取り入れられました。

私たちが旅行に出かけるときには、 地図を持参します。いま自分はどこに いるのか。これからどこに行くのか。 この建物はどこにあるのかなど空間的 な位置を確認するためです。また、そ の場所に何時までに行くのか。どれく らい時間をかけるのか。この建物はい つの時代のものかなど、時間軸でもの を考えることも行っています。

歴史上の事象である、「徳川家康は 1603年、江戸に幕府を開いた」と いう事実には、「いつ」と「どこで」 が含まれています。それぞれの位置は 前者を年表で、後者は地図で特定する ことができます。

物事を理解したり、さらに見たり考 えたりするとき、その前提として二つ の軸で位置を確認します。このことを 曖昧なままに思考したり議論したりす ると軸が不明確になり、見方や考え方 が変わってしまったり、不透明になっ たりすることがあるからです。

### **INFORMATION**

(文部科学省後援) 全国コンクール 作品募集中

一そんな願いがこめられた読書教材です。

子どもたちの小さなてのひらに載せられ、あたためられ、

随所に持ち運ばれ、そして、くい入るように読破してもらいたい。

●総監修 児童文学作家 石森延男 ●A5判 16~28ページ 4色·1色 ●1~6年 各12冊

●学校納入定価 1冊160円

かわの なかの うんどうかい





### 編集後記

環境省は、全国の小中学校から出る給食ゴミの 4割が"食べ残しによる"との試算を先月公表しまし た。かつては食べ残さないよう給食の時間後も居 残りで食べている子も見かけたものです。現在は、 アレルギーによる事情も含まれるのでしょうが、子ど もたちの食べられない事情も複雑そうです。(T記)



企画・編集: ぶんけい教育研究所 行:株式会社文溪堂 発 行 日:2015年6月1日